

学習や生活に関する改善プラン

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です。

本校は、全国及び岡山県学力・学習状況調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。学校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。

なお、さらに詳細な結果について、調査対象の学年に配付することとしています。

【全国及び岡山県学力・学習状況調査結果の概要】

成果

- ・ 全国学力・学習状況調査（以下 全国調査）、岡山県学力・学習状況調査（以下 県調査）とも、概ね満足できる正答率を示した教科、領域が多く見られました。特に算数（数学）では、基礎的な内容（全国調査の算数A 県調査の四則計算等）を中心に良好な結果を出すことができています。これは、家庭学習や計算大会など日頃の反復学習の成果が表れていると考えています。
- ・ 全国調査では、無解答率が全国平均に比べて低い傾向にありました。選択問題に比べて手間のかかる記述問題にもあきらめずに取り組もうとする姿勢が伺えます。正答率を見ても、活用が問われる国語B・算数Bで高い値を出した記述問題が見られました。本校では、平成25年度まで算数の授業研究に取り組み、導入や自力解決、まとめの場面で自分の考えを「書く」ことにより、表現力をつけたり、話し合いを深めたりするなど、授業改善に取り組みました。その成果が表れつつあると考えています。
- ・ 全国調査・県調査とも、「読書は好きですか」という質問に肯定的な回答をした児童が多く見られました。毎朝の読書、図書委員会を中心とした読書のための取り組み、ボランティアの方々の読み聞かせ等の取り組みの成果が表れていると考えます。
- ・ 全国調査・県調査とも、「地域の行事に参加している」という質問に対し、肯定的な回答をした児童が多く見られました。家族や地域の方々との良好な関わりが児童の情緒を安定させ、意欲へとつながっていきます。本校児童は家族だけでなく、地域の方々ともしっかり関わっている実態が見られ、世代を超えた多くのの方々とのつながりが本校児童の学力を支える一因になっていると考えます。

課題と対応

- ・ 本校では、計算と同様に漢字についても家庭学習や漢字大会といった取り組みを通して反復学習をする機会を設けていますが、漢字の読み書きにおいて、特に全国調査で正答率の高い字が見られ、これまでの取り組みにも一定の効果が表れていると思われます。しかし、正答率の低い字も同じ程度見られるため、当該学年以前の復習や、漢字の活用等を習熟させることが課題であると考えています。児童にとっては、6年間で1006字を覚えるだけでも大変な量です。これまでの取り組みを継続していく中で、漢字における本校の課題を念頭に改善を図っていきたいと考えています。
- ・ 全国調査では、算数よりも国語に課題が見られます。国語B（活用）では3つの大設問に分かれており、多量の文章を読み進め、解答の手掛かりになる個所を的確にとらえなければなりません。正答率が低かった設問の中で、大設問の最後の問題がありました。設問について考える以前に、出題意図等を理解しながら読むことが難しかったようです。上記の通り本校児童は読書に親しむことはできていますが、大量の文章をはやく正確に読みこなすことに課題があると考えます。
- ・ 本校では、昨年までの授業研究をさらに広げ、様々な教科の授業の中で「書く」活動に焦点を当て、授業改善に取り組んでいます。課題に対して感じたことや、考えたこと等を自分の言葉でまとめ、書かせることで、文章を扱う活動を無理なく着実に経験させ、国語の力の底上げを図りたいと思います。

【保護者・学区の方へのお願い】

- ・ 「毎日同じくらいの時刻に寝ている」「学校の授業以外に1日1時間以上勉強している」の設問に対する望ましい回答率が低いようです。上記の通り、今後も継続して漢字や計算等の反復練習を中心に家庭学習にしっかり取り組ませたいと思います。家庭学習への取り組みを含め、学校での様子から、家庭や地域との連携が必要であると判断される場合は、できるだけ密に連絡をとらせていただきますので、ご協力をお願いいたします。
- ・ 従来からご協力いただいている「生活がんばりカード」は、今年度から中学校区内の学校で統一した形のものに改め、取り組んでいます。学習に対する姿勢や、学力の下支えとなる生活習慣等について関心をもつきっかけにさせていただきたいと思います。子どもたちのがんばりをしっかり認め、励みになるような声かけをよろしくお願いいたします。

